

主な事業

- 1 堆肥生産技術の普及
優良堆肥生産技術を都内畜産農家等に普及するため、施設を公開し、技術や情報を提供しています。
- 2 優良堆肥の生産販売
有機農業や東京都エコ農産物認証制度の認証を受けた生産者、環境保全型農業に取り組んでいる生産者等に対して、優良堆肥を販売しています。
- 3 都民へのPR
循環型社会の構築、環境保全型農業の推進等、東京都が取り組む施策をPRしています。

施設概要

土地面積		7,112 m ²
主な施設	管理事務所 1棟	93.06 m ²
	横型ロータリー式発酵槽 1棟	735.00 m ²
	自走式攪拌機用堆肥舎 1棟	596.00 m ²
	堆肥舎 1棟	432.00 m ²
	製品庫 1棟	162.00 m ²

交通案内図



公益財団法人 東京都農林水産振興財団 東京都有機農業堆肥センター



当堆肥センターは、平成6年に東京都が有機農業をはじめ環境と調和した環境保全型農業を推進するため、「土づくり」に不可欠な優良堆肥生産を実証するモデルプラントとして設置されました。

ここで生産された堆肥は有機農業や東京都エコ農産物認証制度に取り組む農家など、できるかぎり化学肥料や化学合成農薬を使わない環境に配慮した農業を実践する生産者、また、家庭菜園を楽しむ都民にも広く提供し、都市農業の振興に貢献しています。

〒198-0024 東京都青梅市新町 6-7-1
電話 0428-33-3997 FAX 0428-33-3998

堆肥製造の概要

当堆肥センターでは、財団青梅庁舎（旧畜産試験場）や近隣畜産農家から毎日搬入される家畜ふん（飼料残渣や敷料を含む）にリサイクルセンターで生産された街路樹等の剪定枝チップを副資材として混合し、約2～3ヶ月かけて完熟堆肥化を図っています。

1日当たりの家畜ふんの処理量は約2,700kgです。ふんの種類としては、牛ふんが約80%、豚ふん約15%、鶏ふん約5%の割合です。搬入されるこれらの生ふんを連続して処理し、年間約470t（水分含量50%換算）の堆肥を製造しています。

堆肥の品質

完成した堆肥は農家が安心して使用できるように定期的に成分や植害試験を実施し、品質の確保と向上を図っています。成分的には、窒素2%台、リン酸やカリは3%台で、炭素率（C/N比）は15程度です。

なお、2011年3月の福島原発事故以降は放射性セシウム濃度についても定期的に分析し、安全性の確認を行っています。

堆肥の販売

販売は、バラ積みが基本です。100kg単位で「とうきょう元気堆肥」として700円/100kg（水分含量50%換算）で販売しています。

製造工程



家畜ふんに剪定枝チップを混合し、発酵しやすい物性に改善。



自走式攪拌機

混合物を山形に積み自走式攪拌機で定期的に攪拌、約20日間発酵処理する。



さらに横型ロータリー式発酵槽で毎日攪拌、約20日間発酵処理する。



横型ロータリー式発酵槽から搬出した堆肥はふるい機にかけ、夾雑物や大きなチップを除去する。



ふるい分けが終わった堆肥は20～30日間、後熟処理する。



完熟堆肥の完成



出荷販売

